

# 日田市

## 日本遺産を体感できるモデルコース

コーステーマ

咸宜園と淡窓ゆかりの地を巡り、学園都市の息吹を感じる旅

所用時間

約5時間



咸宜園跡

近世日本最大規模の私塾跡。併設された咸宜園教育研究センターでは全国から集った門下生の情報検索や体験型学習教材で、楽しく塾や江戸時代の日田のことを学ぶことができます。



廣瀬淡窓墓（長生園）

咸宜園歴代塾主が眠る墓所。国史跡。咸宜園創設者廣瀬淡窓が自ら残した「文玄先生之碑」の文面から、淡窓の人となりを偲ぶことができます。



草野家住宅

大分県内最古の商家建築で、国重要文化財。日田を代表する豪商にして、代官所の公金取扱を認められた掛屋。咸宜園にも多数の入門者がいる。ひな人形が有名。公開日注意。



日田市豆田町伝統的建造物群保存地区

江戸時代から変わらない町割りと江戸から昭和にかけての町並みが残ります。門下生の生活の場として、「塾と共生したまち」のたたずまいを今に残し、町並みとともに食事やお菓子などの店舗巡りも楽しめます。



廣瀬淡窓旧宅（廣瀬資料館）

淡窓の生家跡。国史跡。廣瀬資料館には、豪商にして掛屋を務めた廣瀬家に残された貴重な品々や咸宜園関係歴史資料を展示しています。入館料：450円/名



桂林園跡（桂林荘公園）

咸宜園の前身の私塾跡。全国的に著名な廣瀬淡窓の「休道（きゅうどう）の詩」は、私塾「桂林園」の時代に詠まれたものです。



長福寺本堂

淡窓が最初に塾を構えた寺院。本堂は九州最古の浄土真宗本堂として、国重要文化財。当時、この寺出身の学僧が、京都で活躍するなど、日田における学問的中心でした。



クンチョウ酒造

日田を代表する豪商にして掛屋であった旧千原家住宅。咸宜園門下生を輩出。江戸時代建築の酒蔵を活用した資料館や蔵元ならではのアイスや酵母パンなども魅力。